

GDX、ファイル転送サービス「GDX Drop Box」を提供開始

--容量無制限で、最大で1ファイル10GBまで対応--

GDX Japan 株式会社（以下 GDX Japan、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木幸一）は、確実な到達性と安全性を提供する企業向けメッセージングネットワーク「GDX Trusted Platform」にファイル転送サービス「GDX Drop Box」を追加し、2009年1月より提供開始いたします。

GDX Drop Box は、メールソフト用プラグイン・ソフトウェア「GDX プラグイン」をインストールしたユーザ間で、簡単かつ安全に大容量のファイル転送を実現する新サービスです。ファイルおよび転送経路は GDX Trusted Platform 内で暗号化されて送信先に届くため、セキュアで確実にファイルを相手先に届けることができます。

GDX Drop Box の特長は以下のとおりです。

- ・ 誰にでもわかりやすい操作
お使いのメールソフトに GDX プラグインをインストールし、ファイルをドラッグ&ドロップするだけの簡単操作でファイル転送が完了します。ファイルは GDX Trusted Platform 上の「私書箱」にアップロードされ、相手がダウンロードした際には送信者にその旨通知されます。
- ・ ディスク容量制限なし
お客様が設定した 1 回の送信あたりの最大ファイルサイズを超えていなければ、何度でもファイル転送を行うことが可能です。合計転送量を気にすることなく、ギガバイトクラスの大容量ファイルでも、安心して気軽に利用できます。
- ・ 送信先リストの自動生成
過去にメールを送信したことがある相手で、さらに GDX プラグインをインストール済みのユーザであれば送信先リストに自動的に情報が登録されるため、送信先情報を入力する手間がありません。
- ・ ファイル転送時のセキュリティを強化
ユーザ間の通信経路は暗号化され、ファイル自体も自動的に暗号化されるため、利用者がセキュリティを意識することなく、より安全な環境でファイル転送を行うことができます。また、ファイルのダウンロードに際して任意のパスワードをかけることもできるため、誤送信のリスクも軽減できます。
- ・ 送信ログ保存・検索機能
管理者機能として専用のポータルサイトから、誰がどこ宛てにどんなファイルを送ったかのログを確認、ダウンロードすることも可能です。今後は、時刻認証機能やファイルの原本保証などにも対応していく予定で、企業の内部統制施策をサポートします。

昨今、メール誤送信による情報漏えい問題やメールサーバへの負荷等から、メールへのファイル添付禁止や制限をつける企業が増加しています。代替手段としてファイル交換サービスなどの利用が増加していますが、内部統制・コンプライアンスといった観点から、企業における運用面で大きな課題がありました。

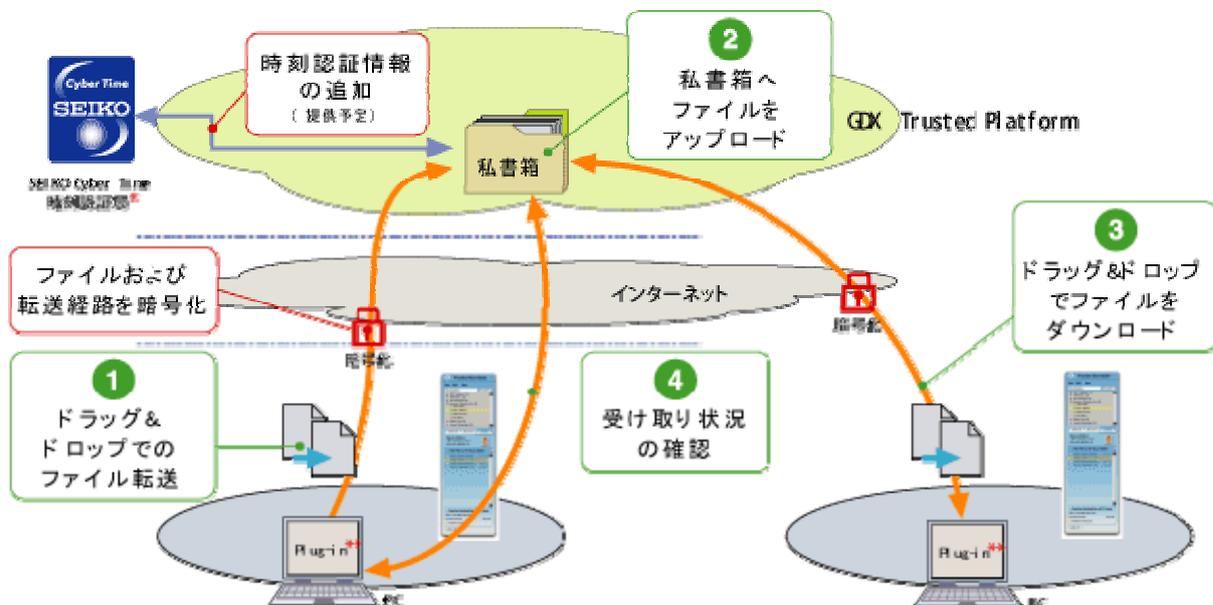
「GDX Drop Box」ではユーザの利便性とセキュリティを両立させ、ビジネスに最適なファイル転送手段を提供します。

GDX Japan では、企業のセキュアなメッセージング環境の構築・維持に向けて、サービスの拡充を進めてまいります。

○ 「GDX Drop Box」 サービス概要

- ・ 品目
 - Enterprise :
法人ユーザ向け品目。管理者向けのポータルサイトにて送信ログ保存・検索機能を提供するほか、エンドユーザごとの 1 回の送信あたりの最大ファイルサイズ(10MB~10GB まで)を設定可能。
 - Personal :
個人ユーザ向け品目。無償でご提供。1 回の送信あたりの最大ファイルサイズは 10MB まで(受信は 10GB まで)。
- ・ 「GDX プラグイン」対応メールソフト
 - Outlook 2003/2007
 - Outlook Express
 - Windows Mail
今後順次各種メールソフトに対応予定
- ・ 「GDX プラグイン」、「管理者画面」 対応言語
 - 日本語
 - 英語

○ 「GDX Drop Box」 ご利用イメージ図



報道関係お問い合わせ先

IIJグループ広報部 富永、川上

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail : press@ij.ad.jp URL : <http://www.ij.ad.jp/>

お客様お問い合わせ先

GDX Japan 株式会社

Tel : 03-5217-3255 Fax : 03-5217-6255

E-mail : info@jp.gdx.com URL : <http://jp.gdx.com/>